

災害医学

ナンバリング M4-S1-D14

責任者・コーディネーター		災害医学分野 眞瀬 智彦 教授	
担当講座・学科（分野）		救急・災害医学講座、法歯学・災害口腔医学分野	
担当教員		眞瀬 智彦 教授、熊谷 章子 特任教授、藤原 弘之 助教、富永 綾 助教、金子 拓 助教	
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 4コマ 8.0時間
期間	前期		演習 0コマ 0.0時間 実習 5コマ 10.0時間

・学習方針（講義概要等）

災害医学とは、災害によって生じる健康問題の予防と迅速な救援・復興を目的として行われる応用科学で、救急外科、感染症学、小児科、疫学、栄養、公衆衛生、社会医学、地域保健、国際保健など様々な分野や、総合的な災害管理にかかわる分野が包含される医学分野である。講義・実習を通して災害時の医療活動に貢献できるよう理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

災害医療の原則、概念、そして過去の災害時の医療活動を学ぶことで、医師として災害時に適切な活動ができるようになる。

(ディプロマ・ポリシー: 1,3,4,6,7,8)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	危機管理全般について説明できる。
2	災害医療の原則を説明できる。
3	CSCATTTについて説明できる。
4	災害時の情報の重要性について説明できる。
5	災害時の医療体制について説明できる。
6	過去の災害時の医療活動について説明できる。
7	災害時に発生する特徴的な疾患について説明できる。
8	トリアージの方法を理解し、実施できる。
9	トリアージタグの記載方法を理解し、適切に記入できる。
10	災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得する。
11	災害時の通信手段を適切に選択できる。
12	収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる。
13	分析した情報から、その時点での適切な支援を考えることができる。
14	被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応をすることができる。
15	災害時における関係機関の役割を理解し、現場での医療活動を説明できる。
16	災害時における避難所について理解し、支援活動を行うことができる。

17	がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる。
18	被災者の口腔ケアの重要性について説明できる。
19	特殊災害について理解し、その対処について説明できる。

・講義場所

講義：東1-D講義室 実習：災害時地域医療支援教育センター

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	4/21(火)	3	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	災害医学総論 危機管理とは、災害関連法、CSCATTT、情報について	1,2,3,4,5	【事前学修】 webclassにアップした資料を読み災害医療の原則、CSCATTTについて自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ災害関連法をまとめる。また、災害時に重要なCSCATTTについてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
講義	4/21(火)	4	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	災害医学各論① 過去の大規模災害の医療活動、避難所での医療活動、災害時に発生する疾患	6,7,16	【事前学修】 過去の大規模災害を調べ、災害時に発生する疾患についてまとめる。所要時間 30分以上 【事後学修】 災害の種類を理解し、各種災害とフェーズ（急性期から慢性期まで）によって必要な医療ニーズをまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
講義	4/28(火)	3	法歯学・災害口腔医学分野	熊谷 章子 教授	災害口腔医学	5,7,18	【事前学修】 過去に歯科医師の活動が報じられた災害について調査し説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ災害時の口腔ケアの重要性について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass

講義	4/28(火)	4	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	災害医学各論② 特殊災害について	15,19	【事前学修】 webclassにアップした資料を読み特殊災害とはどのような災害かを自分なりにまとめる。所要時間 30分以上 【事後学修】 特殊災害と自然災害の違いを理解し、除染前トリアージ・除染・爆傷の際の医療者としての対処方法をまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/11(月)	3	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-1) トリアージ 第1クール	8,9	【事前学修】 災害時におけるトリアージについて説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 start法・pat法トリアージについて、まとめる。また、その違いについてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/11(月)	4	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-2) 机上訓練 -受援- 第1クール	14,15	【事前学修】 被災した医療機関における受援について、適切な対応とは何かを自分なりに考え、まとめる。所要時間 30分以上 【事後学修】 災害時における関係機関の役割を理解し、現場での医療活動についてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/12(火)	3	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-1) トリアージ 第2クール	8,9	【事前学修】 災害時におけるトリアージについて説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 start法・pat法トリアージについて、まとめる。また、その違いについてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/12(火)	4	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-2) 机上訓練 -受援- 第2クール	14,15	【事前学修】 被災した医療機関における受援について、適切な対応とは何かを自分なりに考え、まとめる。所要時間 30分以上 【事後学修】 災害時における関係機関の役割を理解し、現場での医療活動についてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass

実習	5/18(月)	3	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-3) 机上訓練 -避難所- 第1クール	16	【事前学修】 webclassにアップした資料を読み、避難所における医療者としての支援活動についてどのようなことができるかを考え、まとめる。所要時間 30分以上 【事後学修】 災害時における避難所の役割について理解し、支援活動と避難所運営についてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/18(月)	4	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-4) 机上訓練 -情報分析- 第1クール	10,11,1 2,13	【事前学修】 災害医学総論の資料(webclass)を基に、CSCAについて説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 災害時の方針決定に重要な情報について情報分析し方針決定のプロセスについてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/18(月)	5	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-5) がれきの下の医療(選択) 第1クール	7,8,17	【事前学修】 倒壊家屋などから患者を救う際に、どのような疾患が考えられるか、適切な治療方法は何かを調べ、まとめる。所要時間 30分以上 【事後学修】 がれきの下の医療の特殊性を理解し、適切な治療方法をまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/19(火)	3	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-3) 机上訓練 -避難所- 第2クール	16	【事前学修】 webclassにアップした資料を読み、避難所における医療者としての支援活動についてどのようなことができるかを考え、まとめる。所要時間 30分以上 【事後学修】 災害時における避難所の役割について理解し、支援活動と避難所運営についてまとめる。所要時間 120分以上 【ICT】 WebClass

実習	5/19(火)	4	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-4) 机上訓練 -情報分析- 第2クール	10,11,1 2,13	【事前学修】 災害医学総論の資料 (webclass)を基に、CSCAに ついて説明文を作成する。 所要時間 30分以上 【事後学修】 災害時の方針決定に重要な 情報について情報分析し方 針決定のプロセスについて まとめる。所要時間 120分 以上 【ICT】 WebClass
実習	5/19(火)	5	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教	(実習-5) がれきの 下の医療(選択) 第2クール	7,8,17	【事前学修】 倒壊家屋などから患者を救 う際に、どのような疾患が 考えられるか、適切な治療 方法は何かを調べ、まとめ る。所要時間 30分以上 【事後学修】 がれきの下の医療の特殊性 を理解し、適切な治療方 法をまとめる。所要時間 120 分以上 【ICT】 WebClass

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	災害歯科医学	槻木恵一、中久木康一編	医歯薬出版	2018年
推薦図書	3.11 Identity	Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team	ブックウェイ	2016年
推薦図書	家族のもとへ、あなたを帰す	柳原三佳	WAVE出版	2012年
推薦図書	DMAT標準テキスト 改訂第2版	日本集団災害医学会	へるす出版	2015年

・成績評価方法

【総括評価】 進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。								
【形成的評価】 講義毎の振り返りシートで理解度を確認し、フィードバックする。								
到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～19	1、3、 4、6～8				100			100
合計					100			100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

講義室、PC、インターネット環境、トリアージタグ、シミュレーター（レサシアン）、衛星電話、机上シミュレーションセット（HUG等）

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	ライフサポートバッグ（救急バッグ）	2	実習のため